

# 新才能・上杉鷹山

うえずぎようざん

むなかたぐによし  
宗片邦義作 (2016.11) ©

New Noh Play : Uesugi Yozan

(English translation attached.)

## 【構想】

本格的な能にせず、まったく能になじみのない人でも楽しめる分かりやすい、退屈しない新才能(ヌーヴェルノー)。所要時間約一時間。江戸時代中期の米沢藩主、上杉鷹山公を偲び、その生き方に学ぶ。

時代・現代

季節・春四月

場所・山形県米沢市

曲柄・現在物

シテ・上杉鷹山の霊

ワキ・アメリカ人(日本観光客、男マタハ女)

アイ狂言・土地の者(男)

地謡・三名(見本ニテ囃子方ノ後ロニ座スモ)

囃子(太鼓アリ)(新作ナレバ囃子オサエ)

後見・二名

## (ワキ登場)

ワキ詞「これはアメリカより参りたる」日本観光の者です。わが国

の故こ「ケネディ大統領は。最も尊敬する日本の政治家は

上杉うえずぎ鷹山と述べたとのこと。そこでこの度は鷹山の国「米

沢たずを訪ねたいと存じます

地「東北は福島過ぎてその北の。誰が名づけたりし山形の。その

姿形美しき。連山になお雪光る。米沢に早や着きにけり

詞

ワキ「これは早や鷹山の国」米沢です。さてここが鷹山縁の」

上杉神社にございますか。またこちらは「伝国の杜」とあ

り。これは「何の石碑でしょうか

アイ(土地ノ者)登場

アイ「これは故大統領の娘のキャロライン・ケネディ駐日アメリ

カ大使が、二千十四年の「秋祭り」に米沢を来訪され、あの

鷹山公の銅像を眺められて、「これこそわが父が最も尊敬せ

る日本の政治家・上杉鷹山公なり」と申され、メッセージを

下さりたれば、地元の人々力をあわせ、翌二千十五年にこの

記念碑を建立しました。ご覧なされ。彼女の言葉が英語にて

も刻まれています

詞

ワキ「何と」英語にても書かれてあると。( )省クモ。

“President Kennedy admired the man (whose festival we celebrate.) 成程鷹山公のために毎年「お祭りをなごるか。

“Usugi Yozan was a man (who inspired generations with his devotion to his people……)”「確かに父は政治家

とは」国民の為に献身するものと。(and his belief in the power of each person to make this world a better place.)

また国民は一人でも世の中を「変える」ことができると。

これは「鷹山公の教えでしたか。最後に (こう書いていらっしやぬ) (“But I think Uesugi Yozan said it best:)

Nasebanaru.」の「Nasebanaru」とは」なんでしょうか

ようざんこう めいげん

アイ「それは鷹山公の名言で、これを知らない日本人はおりません。「為せば成る。為さねば成らぬ何事も。成らぬは人の、為さぬなりけり」という和歌でうかがいます。

(ワキ「英語の諺にも “Where there is a will, there is a way.”

「意志あるところに」道あり」と言います )

しゅうにんえんせつ

アイ「大統領は就任演説の中で『国家があなたに何をしてくれるかではなく、あなたが国家に何ができるかを問え』と述べられました

ようざん えいぎよう

ワキ「それこそは」鷹山公の影響です

アイ「しかしケネディ大統領は、どうして鷹山公のことをご存じでしたか

かんしん

うちむらかんぞう

ワキ「日本に関心のある」アメリカの政治家は。すべて内村鑑三

めいちよ だいはりうてきにほんじん

の名著『代表的日本人』を」読みました。セオドー・ルーズ

ようざんこう えい

ヴェルト大統領は「この本を読み。鷹山公の」偉さを知り。

にちろせんそう こうわ ちようてい

日本のために日露戦争の講和を」調停しました

(アイ)「その返礼が、日本からワシントンに送ったポトマック河畔かはん さくわの桜

ですね。東京市長尾崎行雄氏おざきゆきお ていあんの提案でした。

ワキ「そうです。あれは日米親善の象徴しょうちゆうです」(省クモ)

ワキ「さて鷹山公について詳しく」くわ教えていただけませんか

アイ「実は鷹山とは。藩主引退後のお名前です。今から二百年以上も

前の、江戸時代の事。それでは、お生まれからお聞かせ致します

よう

地 「時は一千七百五十一年。九州宮崎。高鍋藩主の江戸屋敷に。

男子生まれたり。祖母が米沢藩主の娘なれば。九歳にして米沢

藩主上杉重定が娘幸姫と養子縁組。十六歳にて元服。(將軍家治の

一字を拝領)治憲と称されたり。翌年重定公隠居され。治憲十七歳

にて家督相続。米沢藩主となられたり。その時のお歌に曰く「受

けつぎて国の司の身となれば。忘るまじきは民の父母」

ワキ「十七歳にて」藩主となり。民の父母たらんと」けつぎ決意されたと

地 「さやう。治憲公江戸にあり。米沢藩の財政破綻寸前と知り。悩め

民を救わんと。全てに儉約すべしとの「大儉令」を発したり。藩士  
たみ すく すべ けんやく だいけんれい はつ はんし  
 自らに改革案求め。出でたればすべて断行すべしと。年間祝い事。  
みずか かいかくあん い だんこう ねんかんいわ こと  
しゅうきよぎょうじ えんき しゃしぜいたく きん しょくじ ばんにんいしるいつさい  
 藩の宗教行事すべて延期。奢侈贅沢を禁じ食事は万人一汁一菜。  
いるい もめん じだいしゆぎまじれい はい さんきんこうたいぎょうれつげんいん  
 衣類は木綿のみ。形式主義事大主義虚礼を廃し。参勤交代行列減員。  
ばくふ たはん かいかく こくみんりようみん おのれ とみ けんい  
 (幕府や他藩の改革見れば。国民領民の為ならず。己の富や権威  
はるのり はんせいかいかく あい しんらい せいじ きほん とく  
 の為。) 治憲が藩政改革。根底に愛と信頼。政治の基本は徳にあ  
けいざい むす はんしゆ きゅうよ はちぶん いち おくじよちゅう  
 り。それを経済に結ばんと。藩主の給与を八分の一に。奥女中を  
ろくぶん げん ぶし のうこうしよくさんこうぎょう かいきゅうしやかい  
 六分の一に減じ。武士にも農耕殖産興業。されど時代は階級社会。  
しのつうしやう おご な ぶし いんぜんこうぜんていこう よねざわ  
 士農工商。奢りに慣れたる武士たちは。隠然公然抵抗せり。米沢に  
しきたり  
 は米沢の慣例ありと。されば治憲。心の壁を破らんと。意識改革。  
しざい がっかんけんせつ じょうほうこうかい とうろんうなが ごうい そんちよう ぜんだい  
 私財投げ打ち学館建設。情報公開。討論促し。合意を尊重。前代  
みもん だいかいかく かいかくなんこう かか せいこう  
 未聞の大改革。改革難航。にも拘はらず。つひに成功。(民を愛し  
たみ ふほ かみ ちか なや  
 民の父母たらんと。神に誓い。悩める民のための政治を。)たとへ  
じゅうしんはんこう りようみん たみ  
 重臣反抗するも。領民は。必ず支えてくれる。民こそ国の宝なり  
かん せきようたへ つづ のうみん なや はるのりみずか  
 と。干ばつに凶作打ち続き。農民これに悩みいたれば。治憲自ら

みっかみぼんあまご  
三日三晩雨乞ひせり。不思議やその後。雨降りたりと

(以下(一)省クモ)

詞  
(ワキ)「我が国の政治家ベンジャミン・フランクリンは。十三の

徳目を掲げ。節制・儉約・正直などを守り。後にアメリカ

力憲法制定の」中心人物なりし

不台  
「奴隷解放宣言の。エイブラハム・リンカンや。公民権運動

のキング牧師も。偉大な改革者はいずれも激しい抵抗に会い

ワキ「さやう。オバマ大統領の」核なき世界も。実現」困難。

されど理想は」失はず。現実世界は」戦闘絶えず。難民」

続出。正に」悲惨なり

地「また人工の悲劇に加え。地上には自然災害。藩主治憲対策を

講じつつも。常に神に祈りたり) (ココマデ省クモ)

ワキ「クリスチャンにはあらねど神に」祈りたりと

アイ「彼幼きより儒学を学び。その後、儒者の細井平洲先生に師事

されたり

地「細井平洲。折衷学派。既成の学派宗旨に囚われず。諸説の

長所を取り合はせ。その実践を重んじて。曰く「徳は耳に

依らず。目から入るなり。即ち実行して見せるなり」。されば治憲

率先垂範。自ら徳を実践。民同様に一汁一菜。木綿のみ着用。質素

儉約。民の平安。藩の復興を願い。さらに目に見えぬ神仏にも祈り

たり

ワキ「クリスチャンの」内村鑑三が。如何にも鷹山公を尊敬」せしこ

とよ。鷹山公の」人となり。宗教家の如き」崇高なる御精神。正

に大英雄なりし

地「さて治憲公。改革一段落つき。財政再建民の暮らしに光明見え

れば。三十五歳にて自ら隠居。次なる藩主にその心得を残したり。

即ち国家を私すべからず。人民を私すべからず。藩主は国家人

民の為にあり。人々これを「伝国の辞」と呼び。彼らが憲法と。

「治憲その後五十二歳に。名を鷹山と改名せり。近くに白鷹山な

る山あり。その山頂より人民の平和な暮らしを眺めたかりしか

(シテ登場ノ音楽、短ク)シテ(鷹山ノ霊)登場

シテ「嬉しや嬉し。為せば成る。為さねば成らぬ何事も。成らぬは

人の。為さぬなりけり

地「即ち天は。自らを助くる者を助くるなり。自力あれば

他力あり

詞  
シテ「われこの度この世に」帰り来るは。天明の大飢饉の教訓

を」伝へん為なり

地「天明三年、五年、六年と。日本列島北から南まで。冷害と

洪水に呻吟せり。作物すべて水浸し。されば治憲為政者に厳し

く。民に優しく。一人の餓死者も出さずからずと

シテ「されど万策尽きたれば

地「されど万策尽きたれば。神に祈り。われは断食。されば

三日後。雷鳴轟き。雨止み。猛暑となれば。作物息を吹き返し。

危機を脱したり。それ民の喜び「お屋形様の誠意。天に通じたり」。

米沢藩は一人の餓死者も出さず

シテ「よその難民も受け入れよ

地「あの喜び忘れられず。人事を尽くし天命を待つ

シテ「我を理想化する勿れ。民はさらに新たなる民の

われ りそうか なか たみ あら

為政者望むなり

いせいしやのぞ

(地「米沢藩に憲法あれど。文字に頼らず。その精神を生かすべ

けんぽう もじ たよ せいしん

し。たとへ人に騙さるるも。騙してはならぬ)

だま

シテ「一つの火種が

ひだね

地「この世を変える

(シテ舞アルモ。短目ニ)

シテ「一つの火種が

ひだね

地「この世を変える

みちのく おきたま

シテ「陸奥の置賜に

みちのく おきたま

地「陸奥の置賜に。それ成りたるは。誠なる政治

まこと まつりごと

シテ「民の幸せ。それを天下に

たみ しあわ てんか

地「民の幸せ。それを天下に

たみ

シテ「為せば成る

な な

地「為せば成る。為さねば成らぬ何事も。為さねば成らぬ何事

なにごと

も。成らぬは人の為さぬなりけり。成らぬは人の為さぬなり

けり

(シテ橋掛リへ)

キリ

地 「謙信ヨワけんしん以来上杉いらいうえずぎの。謙信以来上杉おしの。教へは人倫人じんりんひとの道みちと。経済けいざい。

理想りそうと現実げんじつと。共に忘るわすると語りたれば。幽霊鷹山ゆうれいようざん。白鷹山はくようざんの。

彼方かなたへ消えて失せにけり。姿すがたは消えて失せにけり